

宮崎新聞に掲載された 記事コーナー

宮崎牛おいしい H30.1/6(4)
本城小5年 田中 翔かけ
キーンコーンカーンコーン。

今日の給食は、宮崎牛を使った、「お肉ゴロゴロシチュー」です。楽しみだなー。はやく食べたいなー、まだかなーと言ってまっています。

4時間目の授業が終わりました。次は、給食の時間です。そして目の前に、宮崎牛シチューが出てきました。そして「いただきます」と大きな声で言っておきました。

その宮崎牛シチューは、やわらかくて、ジューシーでした。シチューも、宮崎牛のコクが出ていておいしかったです。

ぼくはちよつと思議なことがあります。それは、なぜ日本一の肉が目の前にあるのかなーということ。話を聞いてみると、串間で生産された牛が日本一になったからだそうです。

日本一の肉を食べれてよかったです。串間に生まれてよかった。
(串間市)

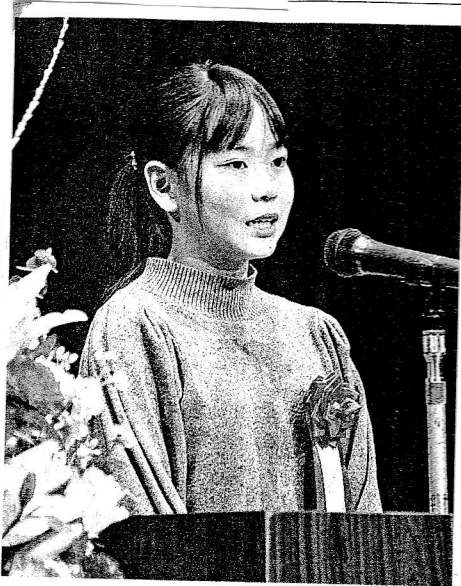
2018年(平成30年)1月21日 日曜日

将来の夢堂々と発表

「声聞く会」に小中生18人

串間

第36回串間市青少年の声を聞く会(市青少年育成市民会議、市教委主催)は14日、市文化会館であった。市内全小中学校の代表18人が登壇。保護者や学校関係者ら約270人を前に、将来の夢や地元への思いを堂々と発表した。



堂々と自分の意見を発表する児童

本城小6年の別宮愛さん(11)は病院で看護師として働く母の姿に憧れ、将来は薬剤師になると決意。「コミュニケーション力を磨き勉強を頑張って、尊敬する小村寿太郎侯のような正直な人になりたい」と話し「薬剤師になった

ら、少子高齢化が進む本城地区に憩いの場となる薬局をつくりたい」と語った。

北方小6年の松下竜樹君(12)は交通安全子供自転車大会団体の部に出場し、仲間の大切さに気付かされたと発表。「仲間のために『ありがとう』を必ず言うこと、困っている人に声を掛けて支えることを心掛けている。自分がしてもらった分を返せる人になりたい」と力を込めた。

ほかの発表者は次の通り(敬称略)。

- 高小生 門川菜摘(福島1年)
- 谷口健太(同)▽中学生 木下桃華(串間2年) 井手優太(同) 坂ノ上純乃(同) 長岡風(同) 森秀吉(同) 松田湖々(同)▽小学生
- 鬼塚莉子(有明6年) 山下未妃(秋山6年) 江藤愛美(大東6年) 時任ひなの(都井6年) 大下愛華(市木6年) 加治末笑真(福島6年) 山田唯愛(大平5年) 轟木土真(金谷6年)

(前田潤一郎)